

ため池の水位調整による冠水対策で 洪水被害を未然に防止

—洪水防止機能—

伊江村農地・水・環境保全管理協定運営委員会



伊江村の農産物

伊江島は沖縄県北部の本部半島から北西 9km の位置にある離島で、かんがい排水事業により整備されたため池や地下ダムを水源として、さとうきび、葉たばこ、花き、野菜等の栽培や畜産が営まれている。「伊江村農地・水・環境保全管理協定運営委員会」は伊江地下ダムの受益地 668ha のうち 618ha を対象に、水利施設等の維持向上のため、平成 19 年 5 月に設立された活動組織である。



沖縄県伊江村



冠水対策前の被害状況
(写真右側 カヤため池)

【洪水防止】

例年、梅雨時期（5～6 月）や台風上陸により激しい降雨が予想される際に、活動組織と伊江村が連携し、カヤため池の水位調整を行っている。カヤため池は付近のため池の中でも貯水量が小さく、降雨が多く流入する場所に位置しているため、水位を調整しないと農道や南側の農地において冠水被害が多く発生してしまう。また、カヤため池のすぐ東側には小学校及び幼稚園、保育所が存在しており、児童への危険排除の観点からも水位調整が必要不可欠な対策となっている。

令和 2 年度においては、周辺地域の冠水被害及び大雨による事故等は発生しておらず、ため池の水位調整による冠水対策で洪水被害の未然防止が図られている。

【景観の保全】

浜崎ため池周辺では、草刈り清掃や植栽が実施されている。台風等による塩害で枯木となった樹木を撤去し、新たにハイビスカスを植栽することで、景観の保全を図っている。

本村では、ため池周辺だけでなく、地域内の一斉清掃作業として農道の草刈りや防風林の剪定等も実施している。この取組は、組織設立当初から行われており、それぞれの区でほとんどの世帯が参加することで、区民同士のコミュニケーションの場となっている。



梅雨時期や台風前に
水位調整を実施



水位調整後のカヤため池
(水深 1～2 m)



浜崎ため池にてハイビスカスを
植栽する委員会メンバー



協力して区域内清掃
作業を行う区民